

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 吉野

【計画】

作成担当者：

前田 裕太

開催日時	令和01年12月06日 14:00 ～ 15:30	開催場所	北部保健センター 多目的室
参加者	民生委員：3人、老人クラブ連合会会長：1人、NPO法人：1人、居宅介護支援事業所代表者：1人、社会福祉法人：1人、医療法人：2人、鹿児島市北部保健センター：1人、地域包括支援センター職員：7人、地域包括支援センター職員		
	総数 17 人		
内容	テーマ	令和元年度 第1回 吉野圏域地域ケア推進会議	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築 地域づくり・資源開発	
	概要	①介護サービス事業所活用支援事業 調査結果報告について ②認知症地域推進員より ③意見交換（事例発表）	

【結果】

開催日時	令和01年12月06日 14:00 ～ 15:30	開催場所	北部保健センター 多目的室
参加者	民生委員：3人、老人クラブ連合会会長：1人、NPO法人：1人、居宅介護支援事業所代表者：1人、社会福祉法人：1人、医療法人：2人、鹿児島市北部保健センター：1人、地域包括支援センター職員：7人、地域包括支援センター職員		
	総数 17 人		
内容	①介護サービス事業所活用支援事業 調査結果報告について 北部生活支援コーディネーターより報告を行う。 ＜質疑応答内容＞ ・子育て世代も対象か？→本事業は主に高齢者の支援を対象としたもの。 ・社会資源情報の周知はどこで行っている？→お達者クラブや今回のような会議の場で周知している。 ・利用したい時や情報を知りたい場合は？→流動的な情報であるため生活支援コーディネーターへ問い合わせください。 ・情報をいかに周知し活用していくかが大切であるとの意見をいただく。		
	②認知症地域推進員より ・パワーポイントや資料を使って、認知症カフェの活動内容報告や情報提供を行う。 ・現時点で22箇所のサロンがある。今年度中に2～3箇所増える予定。 ・サロンを実施している事業所の関係者から実施内容を報告。 ③意見交換（事例発表） ・介護保険、障害福祉、生活保護などの制度を活用しているが、制度を使えない方から比べて「サービスを受けられる人は幸せ」と意見あり。 ・介護保険外サービスは費用が高いため利用は躊躇してしまう現状。身近な見守り等で代替できれば助かる。 ・民生委員としては専門的な相談があれば包括や専門機関に聞いて対応している。身内が少ない独居者は気にかけて注意しているが、隣近所に協力願えれば良い。 ・民生委員より、今年7月の記録的な豪雨で災害時の避難や対応、連絡体制などが決まっていないことを実感した。また、在宅で介護を受けている重度障害者や寝たきり高齢者の避難については、避難の移動方法や避難先に専用の医療介護機器の有無など情報管理も必要。		
今後の課題など	・災害時の避難場所や連絡体制、在宅介護を受けている重度障害者や寝たきり高齢者の移動方法や専用の医療介護機器の有無などについて、行政機関（鹿児島市）と連携を図り、日頃から想定して対策を立てていく必要性がある。		